

義務教育学校 とうべつ学園 開校

4月8日、当別町の小中一貫教育をけん引する義務教育学校「とうべつ学園」が開校しました。

当別町産の木材がふんだんに使われた温かみのある校舎は、新しい時代の教育に対応した環境と他学年との交流の場を備え、1年生から9年生までの一貫した学びを支えます。

今月号では、とうべつ学園の建物内部をご紹介します。

1階から3階までをつなぎ、一体感をもたらす大きな吹抜けの「インナーガーデン」。吹抜けの最上段に設けた高窓から取り込んだ自然光が、校舎の内部を柔らかくに照らします。また、暖められた空気が吹抜けを通じて上昇することで自然換気も行われます。

3階中央に配置された美術室と技術室にも吹抜けと高窓があり、開放的な空間となっています。

大きな吹抜けのインナーガーデン

柔らかな自然光にあふれる校舎



開放的な高窓を備えた美術室



2階から3階の吹抜けを見上げる

充実した屋内体育施設

体育館はバスケットボールのコートが2面取れる広さを備え、全校児童生徒が一堂に会することができます。また、ステージ下にはパイプ椅子が収納され、イベントなど多目的に活用できます。

2階には147mのランニングコースを備え、子どもたちの体力づくりを支援する施設となっています。

この他、町内では初めて学校に武道場が併設され、武道の授業や部活動に使用するほか、講堂としても活用できます。



開放的で自由度の高い教室と廊下

可動式の棚が配置された広い廊下は、グループ学習や異学年交流など、学びのスタイルに応じて自由に活用できる多目的スペースとなっています。

教室と廊下を隔てる壁は無く、扉を全開にすると廊下も教室の一部として使えます。

多目的室も開放でき、隣接するステップテラスと併せると、広い空間が確保できます。



学びの質を高めるメディアライブラリーと特別教室



メディアライブラリー

1階玄関を入り、インナーガーデンを横切った突き当りのエリアには、学校図書室の機能を持ったメディアライブラリーを配置。壁の無いオープンな図書館は、気軽に本に親しむことができるよう、子どもたちがくつろげるスペースとなっています。

理科室や家庭科室などの特別教室は、教卓を囲むようにテーブルを配置して先生の作業が見やすくするなど、学びの質を高める工夫が随所に施されています。



理科室教卓（上部に手元を映す鏡）

教卓を囲む配置の理科室

子どもたちの交流を促すステップテラスとデン



3階多目的教室前のステップテラス

各階に配置されたステップテラスは、子どもたちの主体的な学びや交流の場として、フレキシブルに活用ができるスペースです。

また、「デン」と呼ばれるスペースを随所に設けています。洞穴や隠れ家の意味を持つこの小空間は、子どもたちが集まり、自由に過ごすスペースとして、開放されています。



1階階段下のデン

2階窓際のデン

2階奥のデン

まだまだあります、とうべつ学園のヒミツ



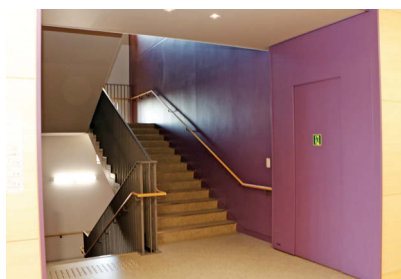
美術部の生徒のデザインをもとに作成されたトイレのピクトグラム。



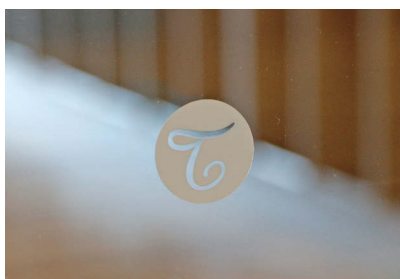
1階には、当別小学校・当別中学校の歴史的資料を展示する歴史コーナーがあります。



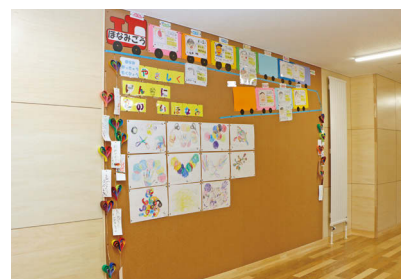
インナーガーデンの吹抜けには、当別中学校のものを引き継いだ校訓「優しく強く」を掲示。



校章や制服に採用されたスクールカラーの紫色は、階段の壁面にも採用されています。



ガラスの衝突防止シールは校章の一部をかたどったマークです。



子どもたちの作品を掲示できる大型のコルクボードを設置。

今後のとうべつ学園の工事は？

今後は、当別中学校の校舎を解体し、グラウンドを整備する工事に着手します。陸上トラックは令和4年度、野球場と多目的グラウンドは令和5年度の完成を目指します。



開校式が行われました

4月8日、とうべつ学園の2～9年生が体育館に一堂に会し、開校式が行われました。

教育長から初代校長へ校旗の授与が行われた後、8・9年生により新しい「とうべつ学園校歌」が初披露されました。

